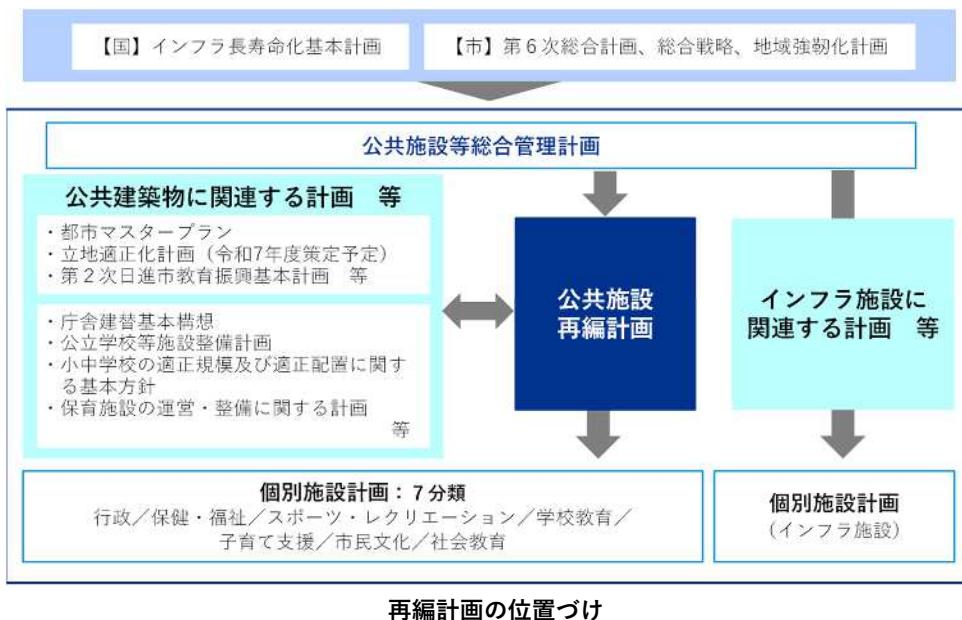


日進市公共施設再編計画（概要版）

計画策定の趣旨と位置付け

本市では、2017年(平成29)年に公共施設等総合管理計画を策定しました。公共施設再編計画は、総合管理計画で示した公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針及び施設類型ごとの管理に関する基本的な方針に基づき、公共建築物の個別施設について公共施設再編の検討の方向性を示す計画として位置付けます。



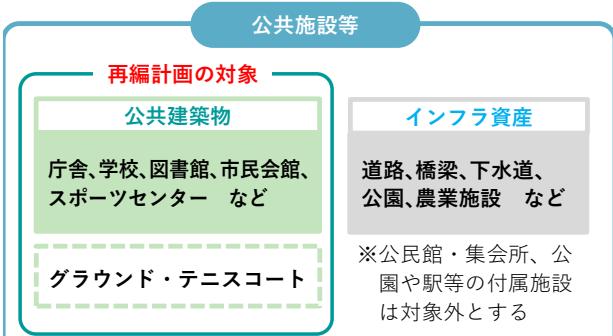
再編計画の位置づけ

計画期間と対象施設

再編計画の計画期間は、総合管理計画に合わせ2025年度(令和7年度)から2056年度(令和38年度)までとします。なお第6次日進市総合計画の目標年次である2030年度(令和12年度)までを計画期間における短期、2031年度(令和13年度)以降を中期以降と設定します。また対象施設は市内63の公共建築物とします。

計画期間表

	2017 (平成29) ～2020 (令和2)	2021(令和3) ～2025(令和7)	2026(令和8) ～2030(令和12)	2031(令和13) ～2056(令和38)
第6次 日進市総合計画	総合計画			
日進市公共施設 等総合管理計画	計画期間40年 2017(平成29)～2056(令和38)まで ※原則として10年ごとの計画の見直しを行う			
日進市公共施設 再編計画		短期	中期以降	



再編計画の対象

再編検討の基本的な考え方

再編計画検討にあたっては、総合管理計画における施設分野毎に公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針をベースとして、各種調査・分析結果と分野別計画、関係各課意向等を踏まえて方向性及び基本方針、個別施設の再編方針を整理します。

市民意向調査では一般市民と中学生アンケートにより幅広いご意見を収集。
利用状況調査では貸し部屋のある施設の利用目的別部屋別稼働率を整理。



再編検討の基本的な考え方

調査・分析結果からみた課題

総合管理計画における整理（要約）

- 新規整備に頼らない中長期での計画的な保全と維持管理

建物性能調査

- 老朽化した施設に対する短期的な対応

利用状況調査

- 稼働率にゆとりがある貸し部屋の施設横断的な有効活用
- 利用者の利便性向上と管理者の運営効率化の促進

エリア別施設配置

- ニーズに応え利便性を維持・向上する施設再配置
- 概ね小学校区単位として地域に必要とされる機能の確保

市民意向調査

- 市域全体及び地域単位での公共サービスの適正配置
- 市外での活動の選択肢を幅広に有する日進市の特性の活用

機能に着目した整理

- 施設の行政分野ではなく機能に着目した再編

分野別計画

- 分野別計画との連携

日進市における再編の考え方

現在と未来の負担の平準化と変化するニーズへの対応の両立

市域全体と地域単位のサービス圏域別で
みた施設や機能の確保

建物別ではなくサービスや機能に着目した再編

稼働率などの利用状況を踏まえた既存施設の横断的活用

公共と民間、市内と市外の枠を超えた
サービスの選択肢の提供

再編の基本方針

サービスと提供量の最適化

市民ニーズや社会情勢や生活様式の変化に配慮しながら「適切な市民サービスの提供」と「財政状況に応じた持続可能な公共施設の提供量」の最適化を図ります。

既存施設の利活用と複合化・集約化等による施設の延床面積総量の圧縮だけでなく、複数の大学を有する特長を活かし大学・市民・行政の連携のもと、民間活力やデジタル技術の導入等により、サービスの質の向上と運営の効率化を図ります。

機能に着目した公共サービスの再編

これからの公共サービスの在り方を、建物としての「施設」とその中で提供しているサービスとしての「機能」を分離して検討します。単に建物単位での検討ではなく、必要な機能を維持・向上する視点をもって、類似又は重複している機能を整理し、施設横断的に適切なサービスの提供について検討します。

また、公共サービスとして求められる機能は、サービスを提供する範囲として「市域全体」と「居住地の身近なエリア」に分類できます。ここでいう「身近なエリア」は概ね各小学校区域とし、小学校や福祉会館等を各地域単位で求められる機能の受け皿として位置づけ、公民館や集会所と連携しながら、地域の核としての施設のあり方を検討します。

ライフサイクルコストの低減と維持管理の効率化

施設の建物性能の現状を整理した上で、財政制約に基づいた大規模改修及び建替えの優先順位付けを行います。また、建築物への日常的な保全や定期的な補修により長寿命化を図るとともに、予防保全に転換し、ライフサイクルコストの低減と財政負担の平準化等を図ります。

また、デジタル技術の導入やデータ活用などを進め、少人数でも効率的に対応可能な建物の維持管理に取り組みます。

公共施設マネジメントの府内体制の検討

分野横断的かつ民間との協働による公共施設マネジメントを実行していくための全庁的な体制について検討します。また近隣自治体との広域連携については、公共施設の立地状況や利用実態等を踏まえながら検討していきます。

地域単位で備えることが望ましい機能の分析

基礎的な生活圏の単位で必要とされているサービスと、既に日進市において一定の地域単位で立地しているサービスや機能を踏まえ「公共サービスとして備えるべき機能・施設か」「各地域に個別に備えるべきか。他地域との連携でまかなえる機能・施設ではないか」の2つの観点から選定を行った結果は以下の通りです。

地域単位で備えることが望ましい機能の分析

①機能・設備の候補の洗い出し

●基礎的な生活圏で必要とされている生活サービス + ●日進市において地域単位で立地しているサービス

②選定の視点の設定

選定の視点1：公共サービスとして備えるべき機能・施設か。

選定の視点2：各地域に個別に備えるべきか。他地域との連携でまかなえる機能・施設ではないか。

③機能・施設の設定

行政機能 出張窓口や証明書発行機能	社会教育・生涯学習 サークル活動や生涯学習、交流	公園・運動場 運動ができる設備や公園
子育て支援 保育所・キッズスペース	学校教育 小学校・学童	コミュニティ 公民館・集会所
高齢者福祉 支援窓口や高齢者サロン	(付帯として環境衛生機能) ごみ分別ステーションなど	(付帯として防災機能)

施設別再編方針

方針		短期	中期～
(1) 市民・文化系施設	にぎわい交流館、市民会館、生涯学習プラザ、ふれあい工房		
1	老朽化が進んでいる施設については施設の長寿命化を図りつつ、複合化や集約化により施設規模や配置の再編を検討する。		
2	貸館業務を行っている施設については稼働状況を考慮の上、公共施設の質と量の適正化の観点で機能移転または規模縮小や施設廃止も含めた検討を行う。		
3	大規模修繕と施設用途や運営方法の見直しを行うとともに、将来的には広域連携や民間活力の導入も選択肢に入れた検討を行う。		
(2) 社会教育系施設	図書館、明治記念館、香久山古窯保護覆屋		
1	老朽化が著しい施設については機能移転や施設廃止も含めた検討を行う。		
2	貸館業務を行っている施設については公共施設の質と量の適正化の観点で評価し、サービスの維持向上を図る。		
3	大規模修繕と施設用途や運営方法の見直しを行うとともに、将来的には広域連携も選択肢に入れた検討を行う。		
(3) 観光系施設	岩崎城歴史記念館等、旧市川家住宅、道の駅マチテラス日進		
1	貸館業務を行っている施設については、稼働状況を考慮の上、公共施設の質と量の適正化の観点で評価し、サービスの維持向上を図る。		
2	大規模修繕と施設用途や運営方法の見直しを行う。		
3	新たに整備された施設については、中長期的かつ計画的な維持保全を実施する。		
4	民間の観光施設との連携を進め、市内観光の魅力向上を図る。		
5	公共と民間とが連携して施設のサービス向上や収益性を高めることができる制度の活用や仕組みの検討を行う。		

(4) スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツセンター、総合運動公園、上納池スポーツ公園体育館
1	計画的な施設管理と施設の長寿命化を図り計画的保全を行う。
2	大規模修繕と施設用途や運営方法の見直しを行うとともに、将来的には広域連携や民間活力の導入も選択肢に入れた検討を行う。
3	公共施設の質と量の適正化の観点で評価し、サービスの維持向上を図る。
(5) 学校教育系施設	小中学校、学校給食センター、教育支援センター 小中学校については「日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」と整合し必要に応じた適切な再編を検討し実施する。
1	老朽化が著しい西小学校は、教室数が不足しつつ敷地面積が狭小であることから「西小学校改築基本構想・基本計画」に基づき移転建て替えを実施する。
2	計画的な施設管理と施設の長寿命化を図り計画的保全を行う。小中学校以外の学校教育施設に関しては、長寿命化を図りつつ、適切な運営管理を図る。
3	老朽化が進行している学校に関しては、施設の長寿命化も含めた更新計画の検討を早急に進める。
4	学校施設を更新する場合は、長期的な視点に立ち、各学校の状況に応じて既存施設を最大限活用できる適切な手法を検討する。
5	小学校は、更新する場合を含め、将来的にはコミュニティの拠点として地域住民等が連携・協働できるコミュニティ空間を学校施設に複合化・多機能化して確保するよう検討する。
6	現在行っている学校施設の地域開放等を継続しながら、地域のニーズに合わせて、時宜に応じた施設運営の見直し・検討を行う。
(6) 子育て支援施設	保育園、子育て総合支援センター、放課後子ども総合プラン施設、学童クラブ施設 保育園については「日進市保育施設の運営・整備に関する計画」と整合し必要に応じた適切な再編を検討し実施する。
1	既に更新の時期を迎えている東部保育園については、更新に向け、官民連携手法を用いたより効果的な運営方法を早期に決定する。
2	計画的な施設管理と施設の長寿命化を図り計画的保全を行う。老朽化が進行している施設に関しては、長寿命化も含めた更新計画の検討を早急に進める。
3	官民連携など民間活力の導入も含め検討を行う。
4	子育て支援施設は、子育て世代の人口分布にあわせた立地の見直しを検討する。
5	将来的には利便性向上のため、子育て関連の機能の集約化・複合化を検討する。また多世代が交流できる機能として地域拠点化する小学校や福祉会館等への統合を検討する。
6	放課後子ども総合プラン施設は小学校の建替え等に合わせ小学校校舎と一体的な複合化を検討する。
(7) 保健・福祉施設	高齢者生きがい活動センター、障害者福祉センター、保健センター、福祉会館、中央福祉センター 福祉会館については地域拠点の核となる施設に向けて、必要に応じた適切な再編を検討し実施する。
1	老朽化が進んでいる施設については施設の長寿命化を図りつつ、複合化や集約化により施設規模や配置の再編を検討する。
2	貸館業務を行っている施設については公共施設の質と量の適正化の観点で評価し、機能移転または規模縮小や施設廃止も含めた検討を行う。
3	大規模修繕と施設用途や運営方法の見直しを行うとともに、将来的には広域連携や民間活力の導入も選択肢に入れた検討を行う。
4	福祉会館は地域拠点の核となる施設に向けて、多機能化を図るにあたり、利用状況や地域特性を踏まえた適正な公共サービスの提供に向けた検討を行う。なお地域拠点としての機能を有する小学校や公民館、集会所との連携及び役割分担について地域住民との協働で検討を進める。
(8) 行政系施設	庁舎、中央環境センター（エコドーム）、防災倉庫、まちの安心ステーション「ひまわりII」 庁舎については「庁舎建替基本構想」及び建替に向けた各種検討に加え、立地適正化計画の公共施設集積拠点の考え方を踏まえて、適切な再編を検討し実施する。
1	老朽化が進んでいる北庁舎は、更新を見据えて検討するとともに、庁舎周辺に立地している保健センターをはじめとした近隣公共施設との機能の複合化等について検討する。
2	庁舎は、今後も進化を続けるICT、DXに対応した新しい行政サービス・執務空間の検討とそれに柔軟に対応する環境整備を行う。
3	各施設は適切なコストでの長期にわたる効率的な維持管理を図るとともに、施設規模や配置の再編についても検討する。